

大津市の小学生のみなさんに【高学年用】

平成 27 年 6 月
大津市教育委員会

新しい仲間や先生にも慣れて、楽しく過ごせていますか。

一年間をともに過ごしていく仲間一人ひとりを見渡しなが、みなさんに考えてほしいことがあります。「いじめ」についてです。相手への心ない言葉や行動、からかい、暴力、落書き、物かくし、仲間はずれ、かげ口、インターネットでの書き込みなど、いじめにはさまざまな形があります。

たとえ遊び半分や軽い気持ちでしたことでも、受けた相手は心に傷を受けています。その場では笑っていたとしても、心の中では深く傷ついていることもあります。**そして、これらのいじめによって心や体が傷つくだけでなく、かけがえのない命を失うことさえありうるということを知ってください。**

みなさんが、いじめる側にも、見て見ぬふりをする側にもならないようにするには、いじめを受ける側の気持ちに立って考えてみるのがまず大切です。そこから、あたたかい発言や行動が広がれば、誰もが安心できる仲間づくりにつながっていきます。友だちやグループの中で、学級で、安心して過ごしたいと願う気持ちは誰も同じです。力と心を合わせて、いじめのない学校にしていましよう。

先生たちもみなさん一人ひとりの大切な命を守るため、「いじめは絶対に許さない」という気持ちを強く持って、いつも見守っています。もしもあなたがいじめを受ける側になって困ったとき、心配なときには一人でかかえず、すぐに相談をしてください。あなたの気持ちを受けとめます。解決に向けて、いっしょに考えていましよう。

「みんなの安心」につながる、あなたからの第1歩



- () 友だち、先生と気持ちのよいあいさつを交わしていますか。
- () 正しく温かい言葉づかいができていますか。
- () 自分がされて嫌なことを、誰かにしていませんか。
- () 相手の欠点ではなく、いいところを見つけようと心がけていますか。
- () うわさを広げたり、ふり回されたりしていませんか。
- () いじめを受ける側にも原因があると思っていないか。
- () 自分には関係ないと、見て見ぬふりをしていませんか。
- () みんなで決めたこと、学校や社会のきまりを守っていますか。



… あなたの仲間や学級が、正しいことを「正しい」と伝え合える集団になるために …

もしも身近な人に話しにくいときには、話を聞いてもらえる電話相談もあります



| 相談先 | 電話番号 | 受付時間 |
|-----------------|--------------|--|
| おおつこ ほっとダイヤル | 0120-025-528 | 月～金（火曜以外） 午前9時～午後5時 火 午前9時～午後8時 |
| 子どもナイトダイヤル | 077-523-1501 | 毎日（夜間） 午後5時～午前9時 |
| 大津市教育相談センター | 077-525-7912 | 月～土 午前9時～午後5時 |
| 大津少年センター | 077-522-3721 | 火～日 午前9時～午後5時 |
| 堅田少年センター | 077-573-9000 | 火～土 午前9時～午後5時 |



みんなのいじめ防止行動宣言

～いじめゼロへの小さな勇気～

いじめたり、いじめられたり、それを見ているだけだったり、そんなことが起きないような、楽しい学校生活を過ごしたい・・・これは、学校に通う私たちの共通の願いです。

いじめをなくすには、どうしたらいいのでしょうか。私たちはこれまで、学校での様々な取り組みのなかで、考え、話し合ってきました。

いじめをなくすための明確な「答え」はないかもしれませんが、少しでもその「答え」に近づけるよう、日頃から私たち一人ひとりが意識を持ち続け、普段の行動で示すことが必要だと思えます。

私たちは、各学校でそれぞれ取り組んだ「思い」や「ことば」を持ち寄り、人が、いじめたり、いじめられたり、それを見る立場になったとき、それぞれの視点から、行動するべき内容を宣言文として定めることにしました。

宣言文は、「い・じ・め・な・し」の5文字から始まる文章とし、私たち中学生だけでなく、大津市民みんなにとっての宣言とするため、小学生でも理解し、行動に移せるものとなりました。



いやなことがあったら、どんな小さなことでも誰かに話してみよう。

たとえ小さなことでも、自分が「いや」と思えば、それは、いじめかもしれません。もしかしたら、いじめに発展してしまうかもしれません。そんなことにならないように、勇気を出して誰かに話し、少しでも楽になってほしい、そしていじめをなくしていきたい、という思いを宣言にしました。



自分から相手の気持ちを考え、思いやる心を持とう。

いじめは、誰かが「いじめ」という行動を起こさなければ始まりません。もし「いじめ」をしようとしたとき、相手の気持ちを考え、思いやる心を持つことで、それが「いじめ」であることに気づき、行動を起こす前にやめてほしい、という思いを宣言にしました。



目の前のつらそうな人を見逃さず、自分にできることで友だちを守ろう。

いじている人、いじめられている人だけではなく、周りで見ている人も、いじめに関わっています。見て見ぬふりをするのではなく、目の前で助けを求めている人に対し、小さなことでもいいから、自分にできることをすることで友だちを守ってほしい、という思いを宣言にしました。



なにげない素敵な行動で仲間の笑顔を広げていこう。

いじめを起こさないためには、周りの雰囲気づくりも大切です。大津の子どもは、みんなが仲間であり、そのなにげない素敵な行動が、仲間の笑顔を広げることにつながります。そうして、いじめを起こさない雰囲気をつくっていききたい、という思いを宣言にしました。



信じあう気持ちと小さな勇気を支えにして、私たちの手でいじめのない大津にしよう。

将来を担う私たち自身が、互いに信じあい、たとえ小さくても勇気を持って、これらの宣言を普段から意識して行動に移していくことで、いじめのないまち、大津をつくっていききたい、という思いを宣言にしました。

この宣言文は、市民一人ひとりが普段から意識してこそ、行動につながり、いじめの防止につながります。

この大津で、いじめに悩む子どもたちがいなくなるよう、この宣言文に記した「ことば」を心におき、しっかり行動に移していきましょう。

平成26年10月

<平成26年度いじめ防止啓発月間(10月)子どもフォーラム開催に向けての子ども検討会議参加中学生一同>